

授業科目名 (英文名)	英語科学問題演習	科目区分 対象学生	専門基礎科目 理学部
単位数	2.0単位	開講年次・学期	2年次・後期
担当教員	阪口 雅郎、兼安 洋乃、坂井 徹、柳澤 幸子、横田 悦雄、松原 則男	所属	理学部
オフィスアワー・場所	随時(ただし、事前に連絡をとること)	連絡先	備考欄参照
講義目的及び到達目標	本演習では、各専門分野に特徴的な英語表現に触れることを目的とする。これにより、科学専門分野の知識を、英語で書かれた原著論文等を通じて身につけることができる。		
講義内容・授業計画	<p>演習内容： I: 生化学、II: 生物、III: 物理(理論)、IV: 物質化学の各専門分野について、英語教材を用いた演習を行う。※</p> <p>授業計画： 以下4分野について、各3～4回実施する。</p> <p>1 (生物) 生命科学に関する英語論文の読解を通して、科学英語に慣れることを目的とする。論文の構成を理解するとともに、よく用いられる語彙や表現を演習形式により学習する。</p> <p>2 (生化学) 生化学分野の基本的な事柄について英語で記述された資料を教材とし、演習形式で学習する。</p> <p>3 (物質科学) 化学物質の名称や実験方法について基本的な英語表現を学ぶ。題材としては英語で書かれた化学に関する教科書の文章を主に使用する。</p> <p>4 (物理・数学) 物理や数学に関する英文教材を持ちいた学習をとおして、科学英語による表現方法に親しむと共に、物理や数学の基本的内容について演習形式で学ぶ。</p> <p>※授業の進行状況に応じて、研究者による英語での先端研究内容についての講演会を設定する。</p>		
テキスト	各教員より指示、配付される。		
参考文献	授業の中で紹介する。		
成績評価の基準・方法	平常点を含む総合的な評価を行う。		
履修上の注意・履修要件	GLEPコース生を優先登録する。 講義に双方向形式を取り入れるために、定員を30名とする。初回にオリエンテーションを実施し、登録者を決定する。積極的な予習復習が必要であり、評価は厳格におこなう。		
実践的教育	該当なし。		
備考	<p>担当教員</p> <p>I 柳澤幸子 sachy@sci.u-hyogo.ac.jp</p> <p>II 横田悦雄 yokota@sci.u-hyogo.ac.jp</p> <p>III 兼安洋乃 hirono@sci.u-hyogo.ac.jp</p> <p>IV 松原則男 matsubar@sci.u-hyogo.ac.jp</p>		
教員コメント			